

## 1 事業活動方針

設立3年度目は、暴力等の被害者・被害児に対し医療、法的支援、行政支援、教育等、多機関が連携しサポートするための協力体制を強化し、診察、面接、法的支援、同行支援、その他さまざまな被害者・被害児サポート事業を軌道に乗せていく。また昨年度に引き続き、虐待被害児支援・司法面接に関する研修を実施し、県内各地の児童相談所、病院、学校といった、被害者・被害児に接することの多い機関や、一般市民に、この法人の目的と活動内容を広く周知し、どのような経路からでも相談が入るようにしていく。

子どもたちへの支援は、昨年度同様、物的、直接的支援をアウトリーチに実施していく。

研修については、専門知識をもった支援者の養成事業として、「虐待被害児支援・司法面接研修（CAN研修）」を基礎編のSTEP-1については定期的に3回、発展編となるSTEP-2を1回開催する。

さらには、事業や研修を元に被害児の聞き取りの負担軽減や証拠収集に関する調査研究事業を実施し、事業や研修へのフィードバックを行なっていく。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 被害児・被害者の権利擁護事業

##### ア 専門医療者による系統的全身診察の実施事業

- ・内 容 被害者・被害児に対し、系統的全身診察と証拠保全を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県立こども医療センター内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 系統的全身診察を受ける被害者・被害児 5人
- ・支出見込額 149,500円

##### イ 専門知識を備えた面接官による聞き取り事業

- ・内 容 必要最低限の回数の面接で、裁判の証拠としても使用可能な形で被害者・被害児から聞き取りを行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県立こども医療センター内
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 聞き取りを希望する被害者・被害児、保護者など 5組
- ・支出見込額 138,000円

##### ウ 被害児、被害者の裁判準備、裁判支援、事案管理、アドボケートの実施事業

- ・内 容 法的な支援を希望する被害者・被害児に対し、弁護士の紹介、関係機関への連絡、病院や裁判所等への同行支援などの手配や支援を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 支援を希望する被害者・被害児、保護者など 10組
- ・支出見込額 80,000円

② 専門知識をもった支援者の養成事業

ア 専門知識を備えた面接官養成のための研修事業（かながわボランティア21事業）

- ・内 容 被害者・被害児に対し、侵襲的でなく、また裁判で証拠としても使用できるよう事実を不足なく聞き取り、誘導となるような聞き方をしない専門的面接官を養成する研修を行う。
- ・日 時 5月、8月、11月、2月
- ・場 所 横浜市内、神奈川県内等
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 検察官、警察官、児童相談所職員、病院職員、弁護士、臨床心理士、相談員、面接に関心のある人 200人
- ・支出見込額 910,000円

イ 各機関をつなぐ勉強会、知識や情報更新のための研修開催事業

(ア) 多機関多職種連携勉強会

- ・内 容 各機関がそれぞれ行っている支援や手続きの概要、目的、専門用語とその意味等をそれぞれが理解し、現状で不具合が生じている部分に関しての改善策や調整等を検討していく勉強会・研修会を開催。
- ・日 時 1回
- ・場 所 神奈川県立こども医療センター、つなぐ事務所、公民館等
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 医師、裁判官、検察官、警察官、児童相談所職員、弁護士  
スクールソーシャルワーカー、施設職員、行政相談窓口職員、支援に関わっている関係者 20人
- ・支出見込額 25,000円

(イ) 付添犬勉強会（神奈川県子ども未来ファンド助成金事業）

- ・内 容 付添犬に関する活動や調査研究に対し理解を深めてもらい、付添犬の利用拡大や活動をスムーズにするための勉強会を開催する。
- ・日 時 8月
- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 医師、裁判官、検察官、警察官、児童相談所職員、弁護士  
スクールソーシャルワーカー、施設職員、行政相談窓口職員、支援に関わっている関係者 20人
- ・支出見込額 252,000円

③ 被害児・被害者、その周囲の人の心身の回復に対する支援事業

ア かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金事業

(ア) ワンストップサポート事業

- ・内 容 性的虐待・性暴力を受けた子どもが、成長に伴い発生するトラウマ、引きこもりなどの問題に対し、必要な医療支援や福祉支援を家族、学校など教育機関、担当児相など行政機関と連携し、必要な支援内容を検討し、コーディネートを行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 10人

- ・受益対象者 支援を希望する被害者・被害児、保護者など 30組
- ・支出見込額 3,591,000円

(イ) 子どもへの寄り添い、同行支援事業

- ・内 容 日々の生活の中で発生する一人で外に出られない、話し相手が欲しいなど、子どもの気持ちに寄り添いながら登校や通院などの同行支援やオンラインでの対話やセラピードッグとの触れ合いを実施する。それにより、子どもの不安を取り除き、より早急な被害回復を促進する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 支援を希望する被害者・被害児、保護者など 30組
- ・支出見込額 1,404,000円

イ かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業負担金対象外の子どもに対する支援

- ・内 容 虐待・暴力・いじめを受けた子どもが必要な医療支援や福祉支援を家族、学校など教育機関、担当児相など行政機関と連携し、必要な支援内容を検討し、コーディネートするワンストップサポート及びボランティアによる寄り添い支援を実施する
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 支援を希望する被害者、被害児、その家族や支援者等 5組
- ・支出見込額 60,000円

ウ 個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者の生活や進学・就職等及び被害からの回復に必要な医療等に関わる助成

(ア) つなぐ助成事業

- ・内 容 つなぐで得た寄附金を必要な子どもに対し助成する。
- ・日 時 通年
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 つなぐで支援している被害児・被害者
- ・支 出 額 100,000円

(イ) 首都圏若者サポートネットワーク運営委員会による助成事業（第3回若者おうえん基金助成）

- ・内 容 首都圏若者サポートネットワーク運営委員会から交付された助成金を必要な子どもに対し使用し支援を行う。
- ・日 時 通年
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 つなぐで支援している被害児・被害者
- ・支 出 額 350,000円

(ウ) 一般社団法人生活クラブ福祉事業基金による助成事業

- ・内 容 首都圏若者サポートネットワーク運営委員会から交付された助成金を必要な子どもに対し使用し支援を行う。

- ・日 時 4月から9月
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 つなぐで支援している被害児・被害者
- ・支出額 300,000円

④ 虐待、性虐待、暴力等の発見、介入、予防に関する普及啓発事業

ア 講演会、出張講座等の開催事業

- ・内 容 この法人の目的や意義、活動内容、被害者・被害児に必要な支援に関する現状について、広く一般市民に知ってもらい、活動に協力してもらうための広報、啓発講演会、講座を実施する。

- ・日 時 9月及び2月
- ・場 所 神奈川県内及びオンライン
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 一般市民 100人
- ・支出見込額 203,000円

イ 講演会、講座等の講師派遣事業

- ・内 容 地方自治体や機関、支援団体等が実施する虐待、性虐待、暴力等の発見、介入、予防に関する講演会や研修等において、この法人の目的や意義、活動内容、被害者・被害児に必要な支援に関する現状について知ってもらい、活動に協力してもらうための講師派遣を行う。

- ・日 時 通年
- ・場 所 全国
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 一般市民、施設職員、検察官、警察官、児童相談所職員、弁護士、社会福祉士、臨床心理士、相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、施設職員、行政相談窓口職員、支援に関わっている関係者、一般市民
- ・支出見込額 17,500円

ウ ホームページ、SNS等運営事業

(ア) トラウマインフォームドケアプロジェクト

(神奈川県子ども未来ファンド「子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成」事業)

- ・内 容 「トラウマインフォームドケアプロジェクト」として、子どものトラウマに関する記事をHPに掲載し、継続的な啓発活動を実施する。また、活動を告知するために、SNS広告を活用する。

- ・日 時 4月から8月
- ・場 所 事務所 オンライン
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 被害児や被害者の被害からの回復に寄与する事業に関わる人
- ・支出額 276,480円

(イ) HPの追加・修正

- ・内 容 この法人の目的や意義、活動内容、被害者・被害児に必要な支援に関する現状について、広く紹介し、この法人の最新の活動状況等を更新し知らせるために、ホームページ、SNS等を管理運営する。

- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出見込額 230,000円

(ウ) パンフレット、ニュースレターの作成

- ・内 容 この法人の目的や意義、活動内容、被害者・被害児に必要な支援に関する現状について、広く紹介し、この法人の最新の活動状況等を更新し知らせるためにチラシ、パンフレット、ニュースレターの作成、配布を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出見込額 40,000円

⑤ 被害児・被害者の負担軽減や証拠収集に関する研究事業

ア 診断・聞き取り手法改善のための研究事業

- ・内 容 実施した系統的全身診察や面接官による診察や聞き取りが、適切かつ十分なものであったか、被害児・被害者への負担がどれほどであったか、どのような方法がより負担が少なく、かつ十分な診察・聞き取りとなるのか等、同意を得た当事者からの情報を元に研究を行い、診察や聞き取り手法の改善につなげていく。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所等
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 医療従事者、面接者、面接関わる関係者
- ・支出見込額 50,000円

イ 性被害を受けた子どもに対する実態に関する調査研究事業

- ・内 容 性被害を受けた子どもに対する対応について、実態を調査研究し、必要に応じて研究結果を発表、進言等に活用する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所等
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 検察官、警察官、児童相談所職員、弁護士、社会福祉士、臨床心理士、相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、施設職員、行政相談窓口職員、支援に関わっている関係者
- ・支出見込額 280,000円

ウ 「付添犬」の運用のための研究事業

- ・内 容 動物介在療法研究者、獣医、小児科医、児童精神科医、弁護士でチームを作り、日本において、「付添犬」制度の構築、育成、活動について研究する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所等

- ・ 従事者人員 10 人
- ・ 受益対象者 研究者、獣医、小児科医、検察官、警察官、児童相談所職員、弁護士、社会福祉士、臨床心理士、相談員、スクールカウンセラー、施設職員、行政相談窓口職員、ハンドラー、支援に関わっている関係者
- ・ 支出見込額 90,000 円

(2) その他の事業

① その他事業の目的を達成するために必要な事業

(ア) ボランティア説明会

- ・ 内 容 (1) ③の事業を実施するために必要なボランティアの確保のため、ボランティア説明会、つながり活動説明会を実施する。また、ボランティアどうしの連携を深めるため、交流会を実施する。
- ・ 日 時 説明会 年2回 交流会 年4回
- ・ 従事者人員 2名
- ・ 受益対象者 ボランティア

(イ) 広報活動

- ・ 内 容 つながりの活動を広く周知してもらうため、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌広報誌等のメディアからの取材を受ける。
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 事務所、オンライン、電話等
- ・ 従事者人員 5名
- ・ 受益対象者 全国の虐待被害児支援に関わる人